

核都市広域幹線道路

埼玉新都心線～
東北道付近

前回
課題・効果の把握

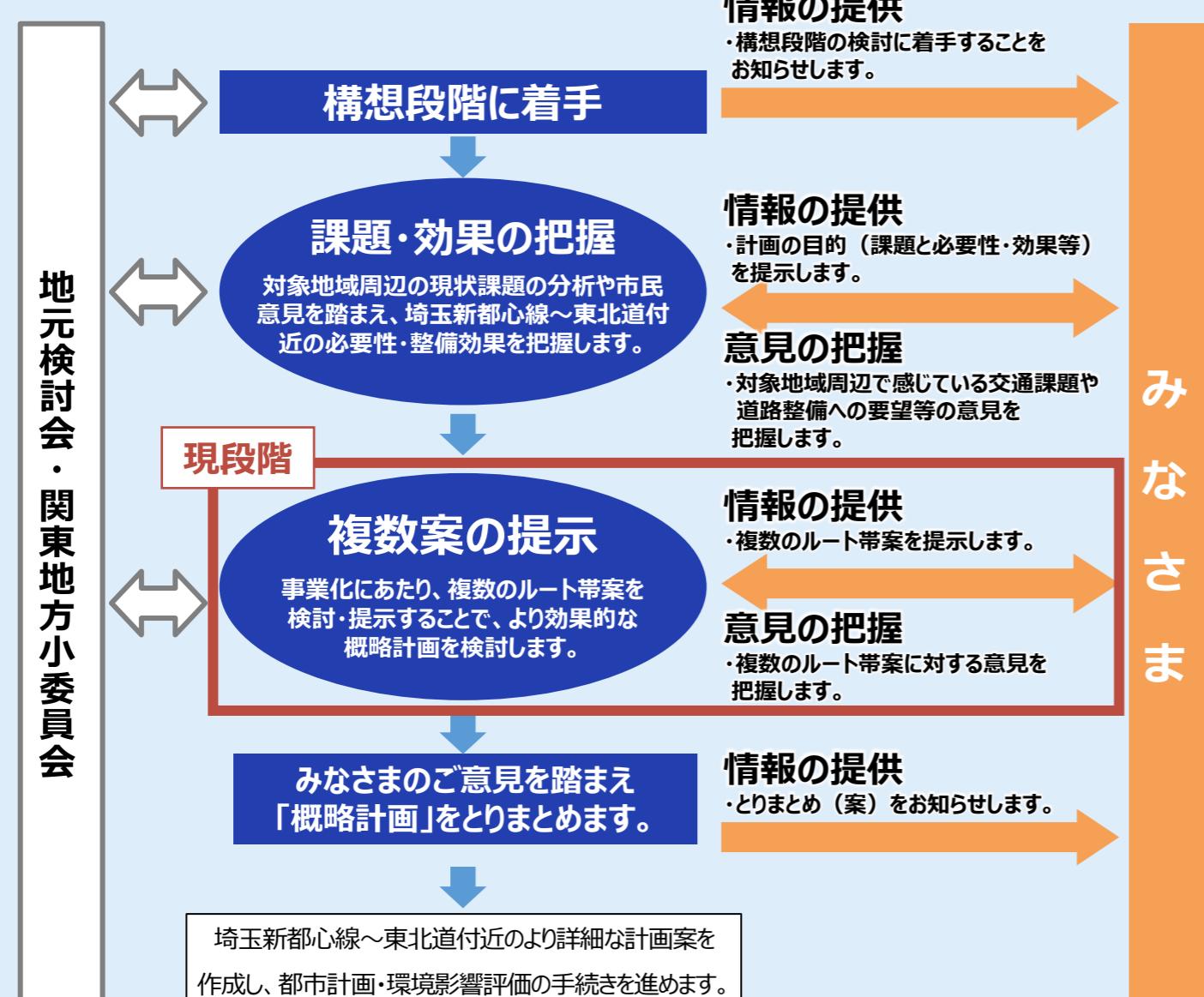


下図:国土地理院地図

今回
複数案の提示



●概略計画の検討の進め方



●複数案・評価項目案の設定の流れ



核都市 ポータルサイト

ポータルサイトはコチラから▶



さいたま市PRキャラクター つながり竜ヌウ

みなさまからのご意見などを踏まえて、
課題・目的を確定し、政策目標と配慮すべき事項に分類しました！

政策目標

- 1 渋滞
- 2 事故
- 3 企業進出・人口増加・拠点間連携
- 4 生活環境
- 5 災害
- 6 医療連携
- 7 観光

配慮すべき事項

- 8 営農・自然環境・景観
- 9 沿道家屋や周辺施設等への影響
- 10 経済性



地域や道路の課題解消のため、
2つの案を設定しました!!

**核都市広域幹線道路**

案①

北側ルート

埼玉新都心線・さいたま見沼ICと
東北道を最短で結ぶルート帯

案②

南側ルート

住宅地を極力回避した
支障物件が少ないルート帯

複数案（ルート帯・主たる構造）の設定



核都市広域幹線道路

- 自然：斜面林、貴重な動植物、貴重な地形・地質等
- 社会環境：学校、病院等
- 文化財等：天然記念物、遺跡、文化財、神社・仏閣、墓地等
- 公共交通施設等：鉄道駅、浄水場、清掃センター、大規模物流施設等
- ● 主要渋滞箇所
- ● JCT位置(案)
- ○ ICI

ルート帯案：計画する路線の位置を500m幅で図示



ルート帯案

案① 北側ルート

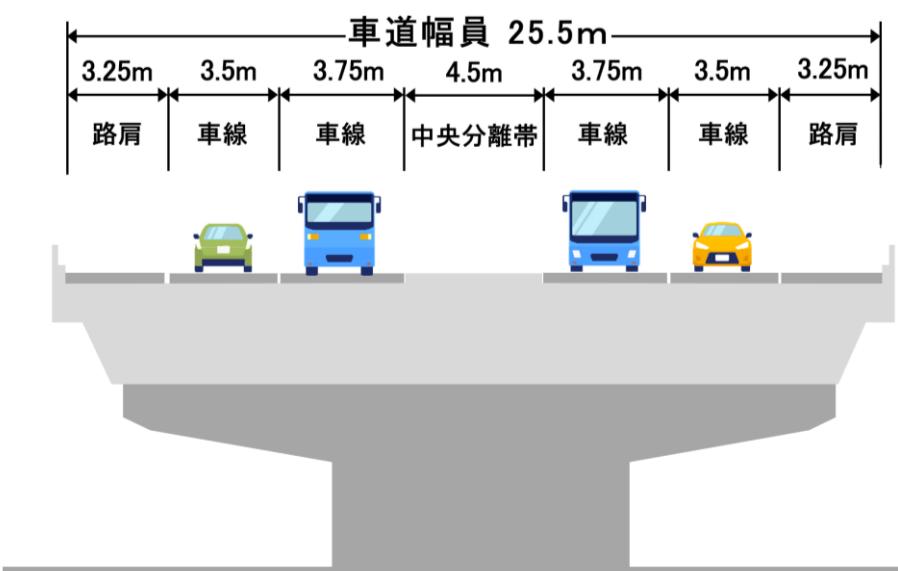
案② 南側ルート

ルート帯案の概要

埼玉新都心線・さいたま見沼ICと東北道を最短で結ぶルート帯

比較的見沼田んぼを通過する延長が短く、環境等の影響が抑えられる

主たる構造案



住宅地を極力回避した支障物件が少ないルート帯

比較的住居地域を通過する延長が短く、住居環境への影響を抑えられる

評価項目案の設定

課題・目的に基づき、複数案を比較評価するための評価項目案を設定しました！



評価項目案の設定



核都市広域幹線道路

自然 : 斜面林、貴重な動植物、貴重な地形・地質 等
社会環境 : 学校、病院 等
文化財等 : 天然記念物、遺跡、文化財、神社・仏閣、墓地 等
公共施設等 : 鉄道駅、浄水場、清掃センター、大規模物流施設 等
凡例
高速道路
一般国道
主要地方道
一般県道
都市計画道路
自然 : 斜面林、貴重な動植物、貴重な地形・地質 等
社会環境 : 学校、病院 等
文化財等 : 天然記念物、遺跡、文化財、神社・仏閣、墓地 等
公共施設等 : 鉄道駅、浄水場、清掃センター、大規模物流施設 等
● 主要洪滞箇所
○ JCT位置(案)
○ IC位置(案)
ルート案: 計画する路線の位置を500m幅で図示

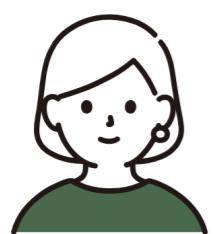


課題・目的	評価項目案※	案① 北側ルート	案② 南側ルート
1.渋滞	①外環道の混雑の緩和	・外環道の交通が転換し、外環道の 混雑が緩和する	
	②主要道路（国道16号、国道463号）の混雑の緩和	・国道16号や国道463号の交通が転換し、 混雑が緩和する	
	③沿線地域の主要道路（県道等）の混雑の緩和	・県道さいたま春日部線等の東西方向に連絡する周辺主要道路の交通が転換し、 混雑が緩和する	
2.事故	④周辺地域の主要な道路における交通事故の減少	・国道16号や国道463号の交通が転換し、 事故が減少する	
3.企業進出・人口増加・拠点間連携	⑤大宮・さいたま新都心地区と美園地区を結ぶ交通軸の形成	・大宮・さいたま新都心地区と美園地区を結ぶ自動車専用道路のネットワークが形成	
4.生活環境	⑥沿線地域の生活道路に流入する抜け道交通の減少	・県道さいたま春日部線等の東西方向に連絡する周辺主要道路の交通が転換し、 混雑が緩和する ・それにより、沿線地域の生活道路に流入する抜け道交通が周辺主要道路に転換し、 生活道路の抜け道交通が減少する	
5.災害	⑦外環道、圏央道の通行止め時の代替路	・外環道、圏央道が事故等で通行止めの場合に 代替路として機能する	
6.医療連携	⑧さいたま市内の高次医療施設への速達性の向上	・美園地区から、さいたま赤十字病院等の高次医療施設への所要時間が短縮するため、 救急医療活動を支援する	
7.観光	⑨大規模イベント開催施設へのアクセス性の向上	・さいたまスーパー・アリーナや埼玉スタジアム等の 大規模イベント施設へのアクセス性が向上する	
8.農業・自然環境・景観	⑩営農環境への影響	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案②に比べて短いため、 営農環境への影響が案②より小さい	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案①に比べて長いため、 営農環境への影響が案①より大きい
	⑪自然環境や景観等への影響	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案②に比べて短いため、 自然環境や景観、文化財等への影響が案②より小さい	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案①に比べて長く、見沼田んぼ地域に近いため、 自然環境や景観、文化財等への影響が案①より大きい
9.沿道家屋や周辺施設等への影響	⑫沿道家屋や周辺施設等への影響	・案②に比べ住宅地が多く、大宮共立病院や浦和競馬・野田トレーニングセンターが立地する地域を通過するため、 案②より影響は大きい	・案①に比べ住宅地が少ない地域を通過するため、 案①より影響は小さい
	⑬工事中の影響	・東北道JCT周辺整備時に市道3502号線の橋梁（新切橋）の架け替えが必要となるが、工事に支障となる物が案②に比べて少ないため、 案②より影響が小さい	・東北道JCT周辺整備時に県道新方須賀さいたま線の橋梁（高畠陸橋）架け替え、および南部配水場が立地する地域を通過し、工事にあたり、送水管の仮移設が必要となり、工事に支障となる物が案①に比べて多いため、 案①より影響が大きい
10.経済性	⑭事業費	2,600～2,700億円	2,800～2,900億円

※評価項目案は、最終決定したものではありません。地域のみなさまのご意見を踏まえて修正される可能性があります。評価項目案を設定する過程の詳細については、ポータルサイトをご参照ください。
また、比較評価案は評価項目案の確定内容を反映して確定します。

みなさまのご意見をお聞かせください

地域のみなさまのご意見を踏まえ、
さいたま市道（計画）を検討しています！



生活環境や渋滞緩和などの効果も含め**多様な観点から検討**して欲しい



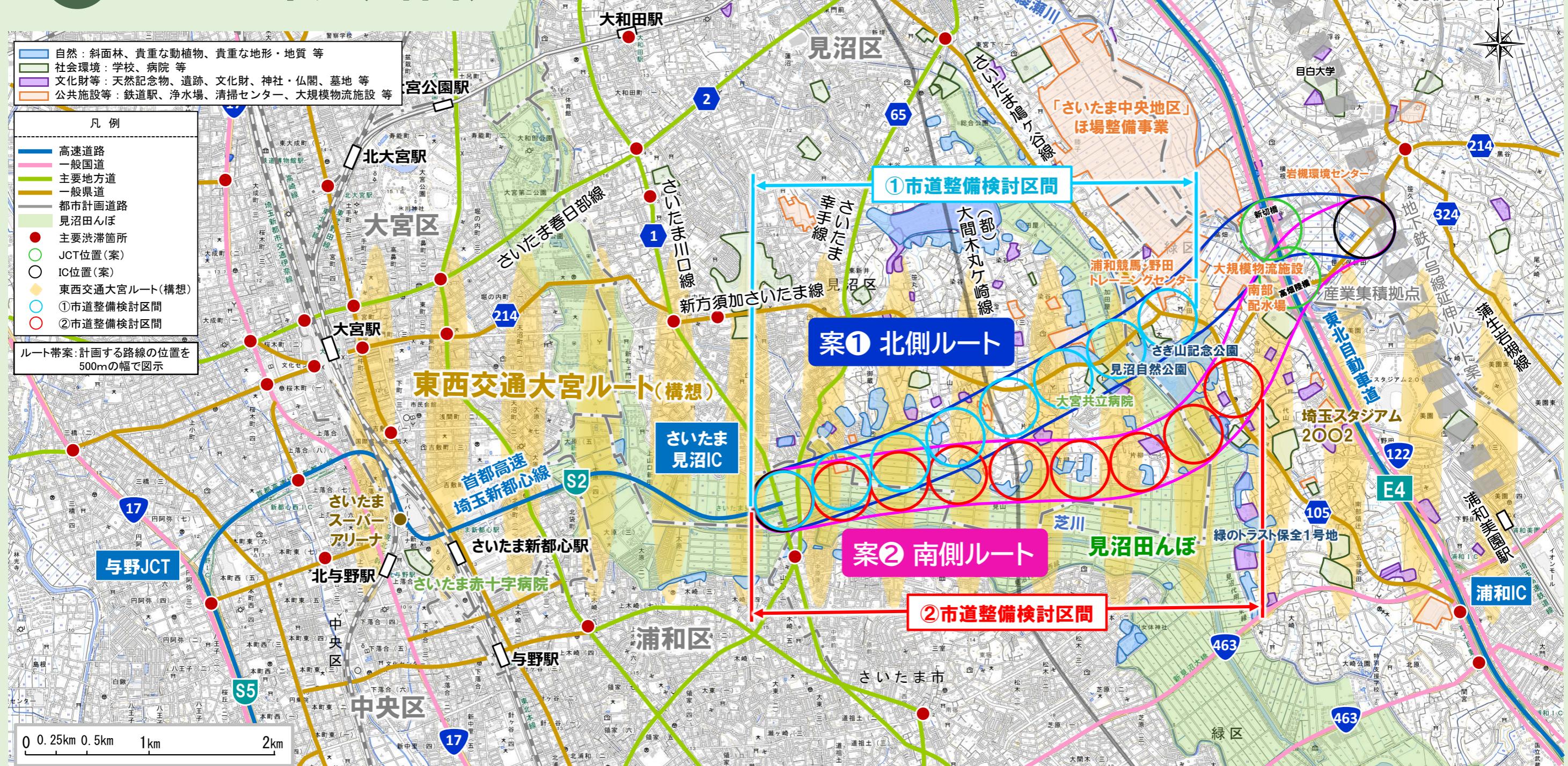
地域の活性化も見据えながら検討して欲しい



地元の自動車などが利用しやすいよう、**側道も整備**して欲しい



さいたま市道（計画）



主たる構造案

核都市広域幹線道路

さいたま市道（計画）
(イメージ)



さいたま市道（計画）
(イメージ)



※見沼田んぼ区間の主たる構造案については今後別途検討

問合せ先



さいたま市 建設局 土木部 広域道路推進室

TEL : 048-829-1501

みなさまのご意見をお聞かせください！

アンケート・オープンハウス・ワークショップを実施します

オープンハウス

『オープンハウス(パネル展示を中心とした情報提供・意見把握)』を開催します。オープンハウスでは、パネルを展示した会場でスタッフが個別に説明しながらご意見やご疑問を直接伺います。

ご自由に参加できますので、お気軽にご来場ください。



1会場につき30名程度までの
ご参加が可能です！

ワークショップ

『ワークショップ(計画検討についての意見交換)』を開催します。ワークショップ参加希望の方は、**12/23(火)**までに右記QRコードまたは下記電話番号・ファックスからご応募ください(抽選※)。

■電話番号(さいたま市 広域道路推進室) : TEL 048-829-1501 (FAX 048-829-1988)
▶住所、氏名、電話番号、年齢、参加希望の会場名をご連絡ください。

■応募条件 : ① 18歳以上の方 ②さいたま市内在住・在勤 または 在学

※抽選結果は、当選された方のみにご連絡いたします。



応募はこちらから▲



R5年度の実施風景：緑区役所

位置図



No.	オープンハウス会場	実施日時
1	埼玉県庁 オープンデー 第二庁舎南西側（浦和区高砂）	R7.11.14 (金) 10:00～16:00
2	埼玉スタジアム※1 南門内（緑区美園）	R7.12.06 (土) 11:00～14:00
3	イオンモール浦和美園 2階通路部（緑区美園）	R7.12.07 (日) 10:00～15:00
4	芝浦工業大学 大宮キャンパス※2 2号館下ピロティ一部（見沼区深作）	R7.12.17 (水) 10:00～15:00
5	片柳コミュニティセンター 1階ロビー（見沼区片柳）	R7.12.23 (火) 10:00～15:00
6	大宮図書館（大宮区役所内） 1階展示スペース（大宮区吉敷町）	R8.01.07 (水) 10:00～15:00 R8.01.08 (木) 10:00～15:00
7	緑区役所 1階区民ホール（緑区大字中尾）	R8.01.13 (火) 10:00～15:00
8	浦和美園駅 自由通路（緑区美園）	R8.01.14 (水) 15:00～20:00
9	見沼区役所 1階多目的室（見沼区堀崎町）	R8.01.15 (木) 10:00～15:00
10	浦和駅 中ノ島地下通路（浦和区高砂）	R8.01.16 (金) 15:00～20:00
11	けやきひろば 1階 エレベーター横（中央区新都心）	R8.01.17 (土) 10:00～15:00
12	シニアふれあいセンターと楽荘 軽食スペース（緑区三室）	R8.01.19 (月) 10:00～15:00
13	岩槻南部公民館 1階学習図書室（岩槻区笹久保）	R8.01.21 (水) 10:00～15:00
14	七里駅 自由通路（見沼区大字風渡野）	R8.01.23 (金) 15:00～20:00
15	岩槻駅 自由通路（岩槻区本町）	R8.01.24 (土) 10:00～15:00

※1 参加には当日の観戦チケットが必要です。試合前の開催になります。
※2 学校関係者以外で参加の方は守警室で入校手続きをお願いします。

No.	ワークショップ会場	実施日時
1	片柳コミュニティセンター（見沼区片柳）	R8.01.28 (水) 14:00～
2	ふれあいプラザいわつき（岩槻区東岩槻）	R8.01.30 (金) 18:00～
3	シニアふれあいセンターと楽荘（緑区三室）	R8.02.02 (月) 10:00～

» Webアンケート »

みなさまのご意見をお聞かせください!!

令和8年3月31日(火)まで

全6問
(約5分程度)



ご回答はコチラから

※本事業は、環境影響評価法（平成9年法律第81号）に基づく計画段階環境配慮書（配慮書）の対象事業となるため、この意見聴取は環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

事務局



国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所 計画課



埼玉県 県土整備政策課



さいたま市 広域道路推進室

課題・目的

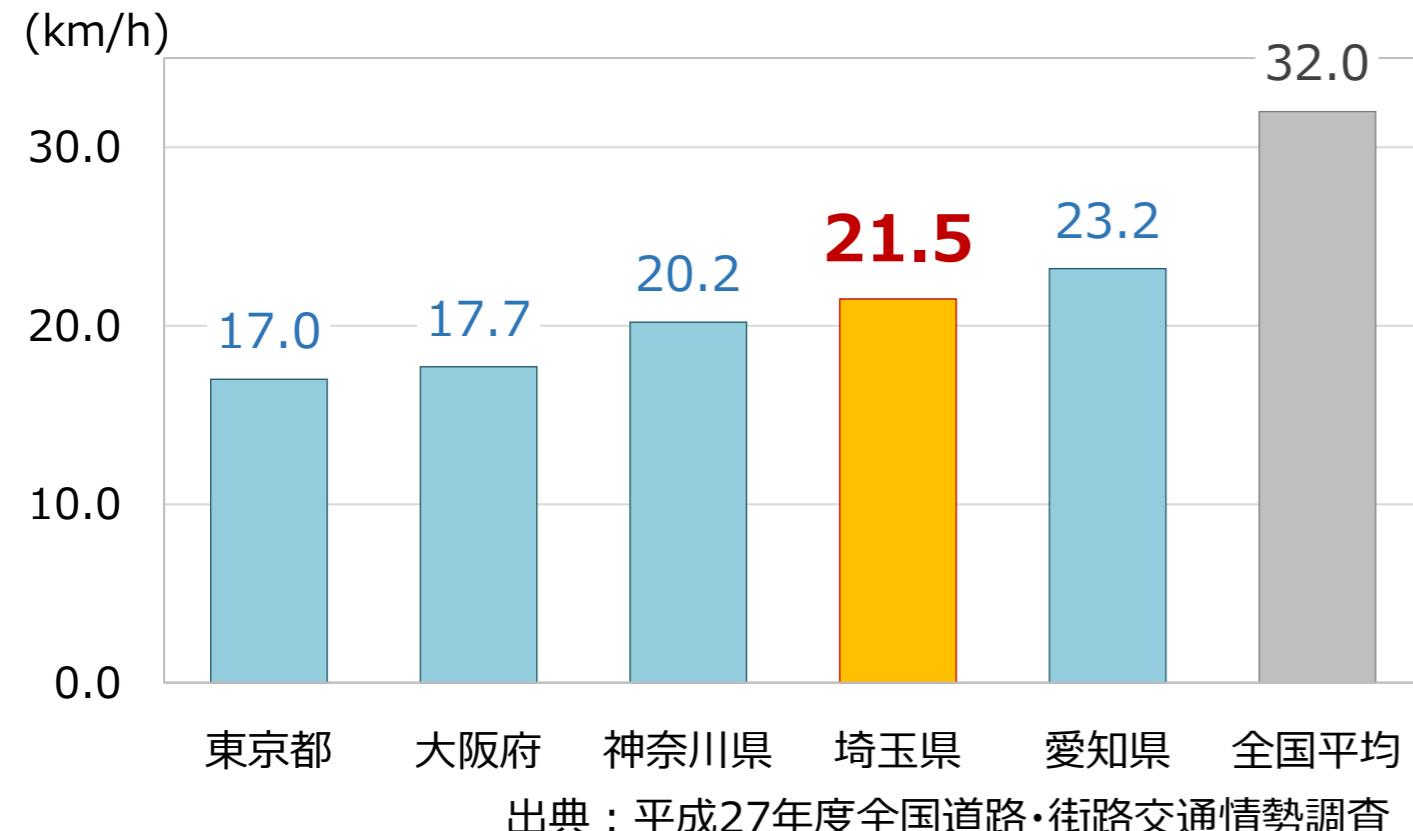
埼玉県圏央道以南地域の課題を解消するための新たな道路として、核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)の計画検討を行っています！

政策目標

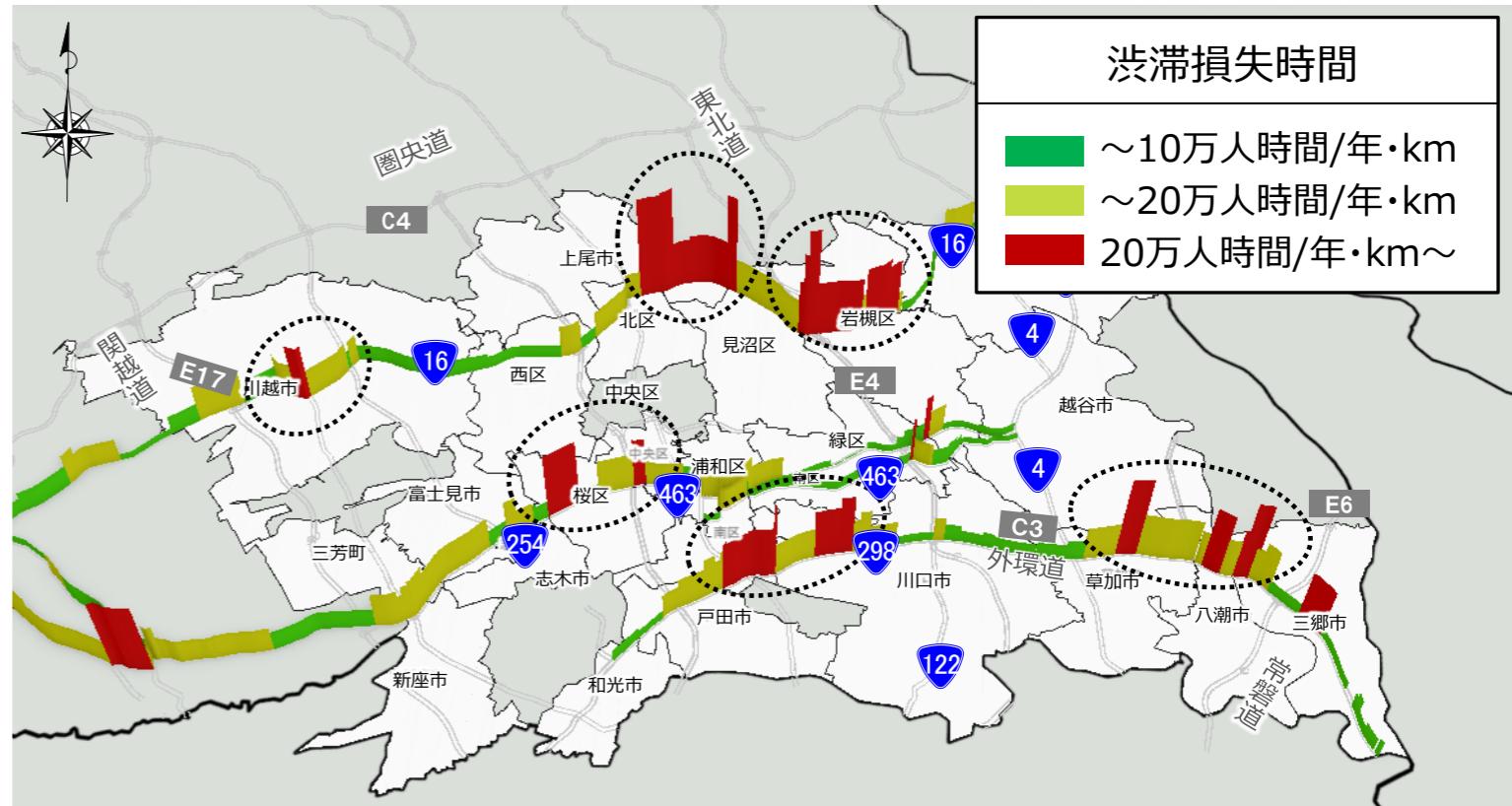
① 渋滞

- 埼玉県の混雑時の旅行速度は全国で4番目に低い。
- 東西方向の幹線道路(国道16号、298号、463号)で渋滞損失時間が大きい区間は、見沼区や緑区周辺である。

都道府県別混雑時旅行速度



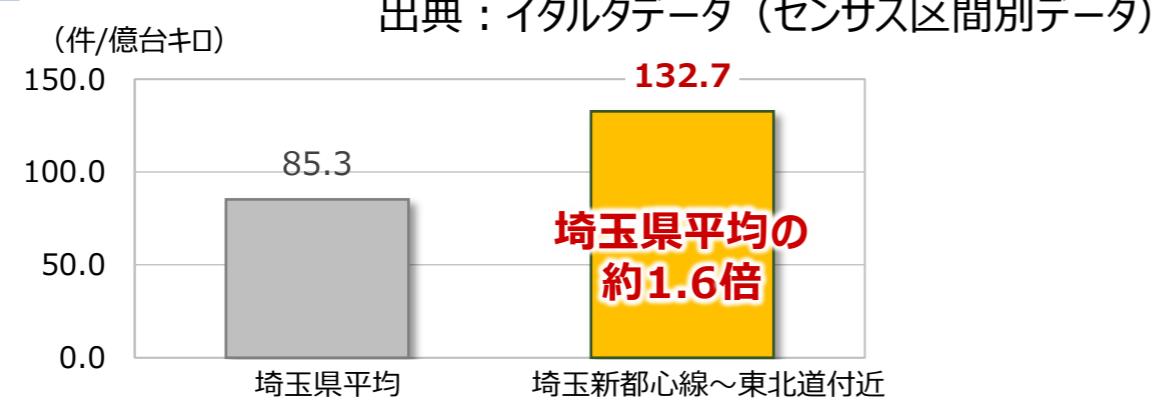
渋滞損失時間



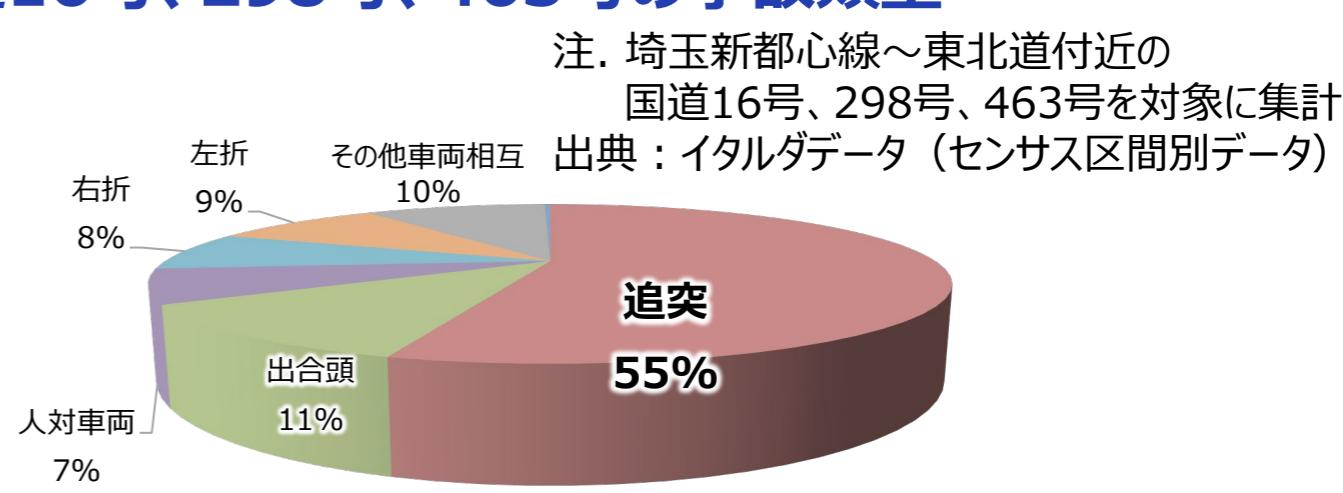
② 事故

- 埼玉新都心線～東北道付近の死傷事故率は約132.7件/億台キロであり、埼玉県平均の約1.6倍。
- 国道16号、298号、463号の事故類型では渋滞が一因とされる追突が約6割を占める。

死傷事故率



国道16号、298号、463号の事故類型



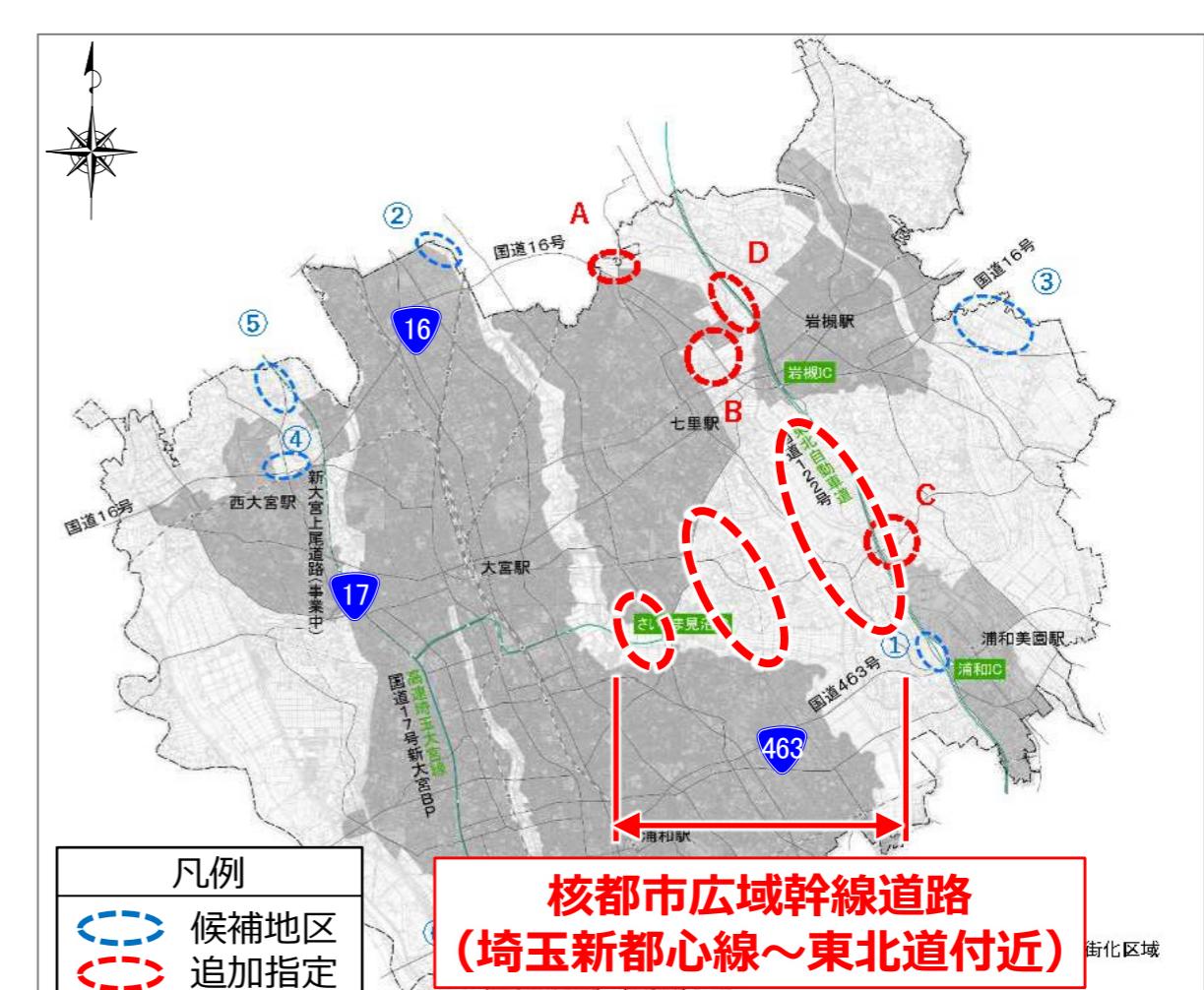
③ 企業進出・人口増加・拠点間連携

- 近年、埼玉県圏央道以南地域では物流施設の新規立地が進む。
- また、さいたま市では「さいたま市産業立地基本方針」に基づき、「財政基盤の強化」「雇用機会の創出」「地域経済の活性化」を図るため、交通利便性などの立地優位性を生かした企業誘致を進めている。
- 令和7年に4か所(A～D)が新たな産業集積拠点候補地区として追加された。

平成27年以降の物流施設の立地計画状況



産業集積拠点候補地区 位置図



課題・目的

政策目標

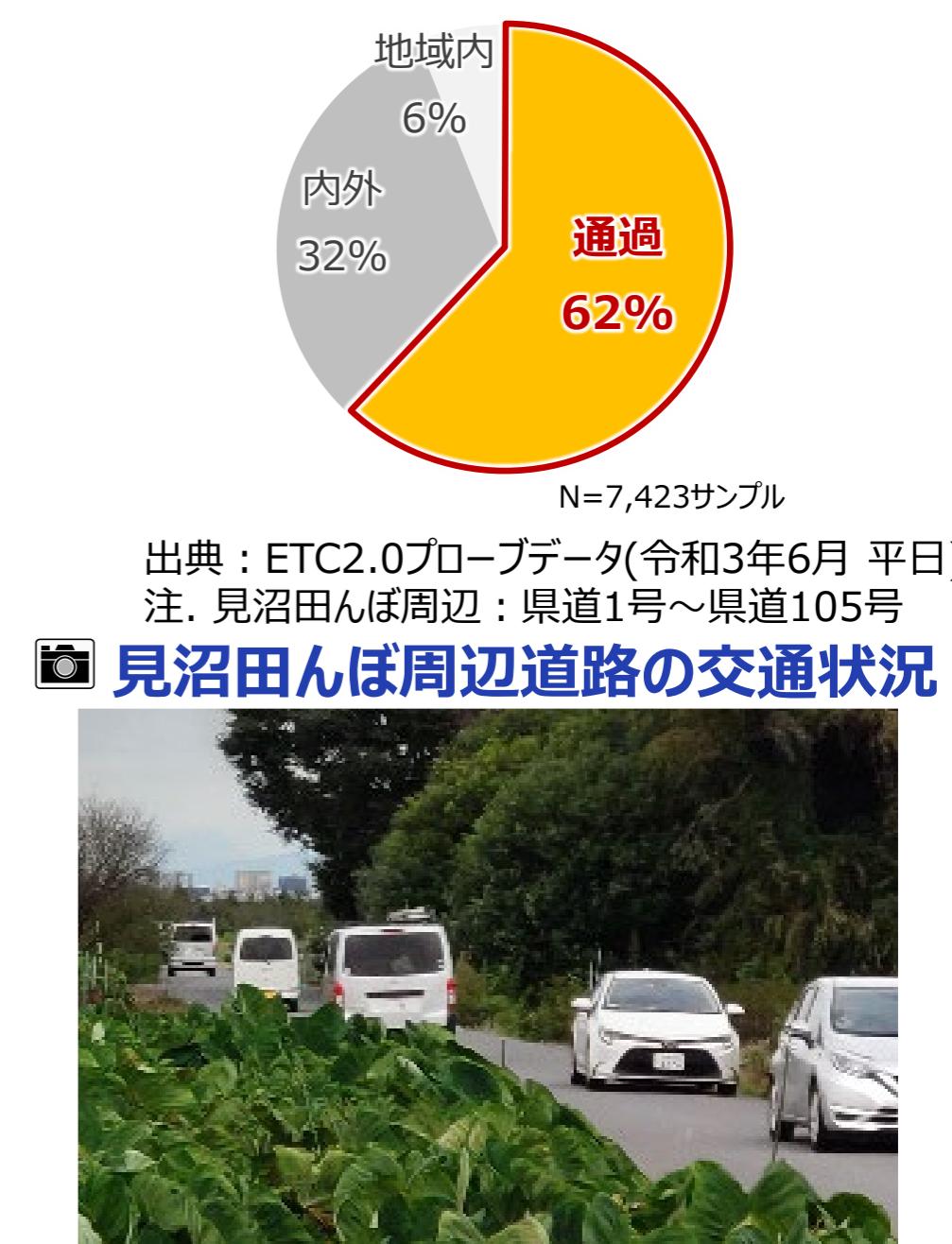
4 生活環境

- 見沼田んぼ周辺の生活道路は、通勤や通学の時間帯等に抜け道として使われる。
- 抜け道として利用する交通の約6割は見沼田んぼ周辺を通過し、生活交通（地域内を移動する交通、地域内から地域外へ移動する交通）と混在している状況である。

見沼田んぼ周辺道路の交通状況



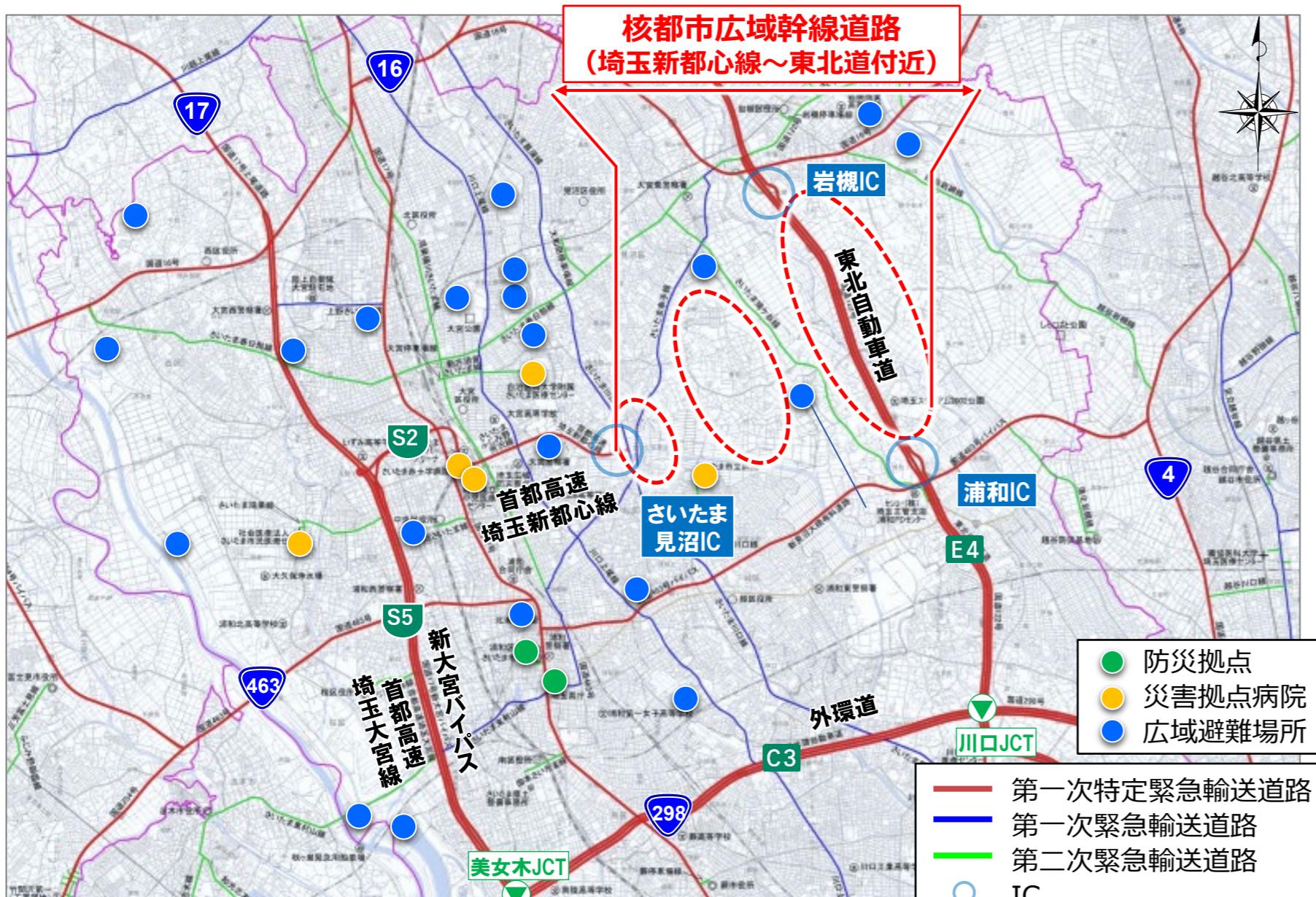
見沼田んぼ周辺の生活道路の利用交通内訳



5 災害

- さいたま市は河川氾濫等による洪水浸水想定区域が広がる。
- 近年の風水害では、さいたま市内で平成26年や令和元年等に大規模な被害が発生した。
- 防災拠点が集中するさいたま市の中心部と南北に縦貫する第一次緊急輸送道路（東北自動車道）を結ぶ東西方向の道路ネットワークが脆弱な状態である。

緊急輸送道路と防災拠点



近年の埼玉県での被災状況

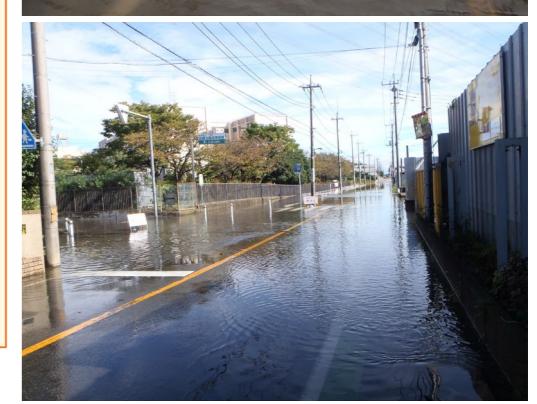
● 令和元年東日本台風

- ・県内気象台14箇所のうち11箇所で既往最大の降雨を記録
- ・さいたま市内の被災：
 - 全壊（2件）
 - 半壊（2件）
 - 床上浸水（968件）
 - 床下浸水（392件）

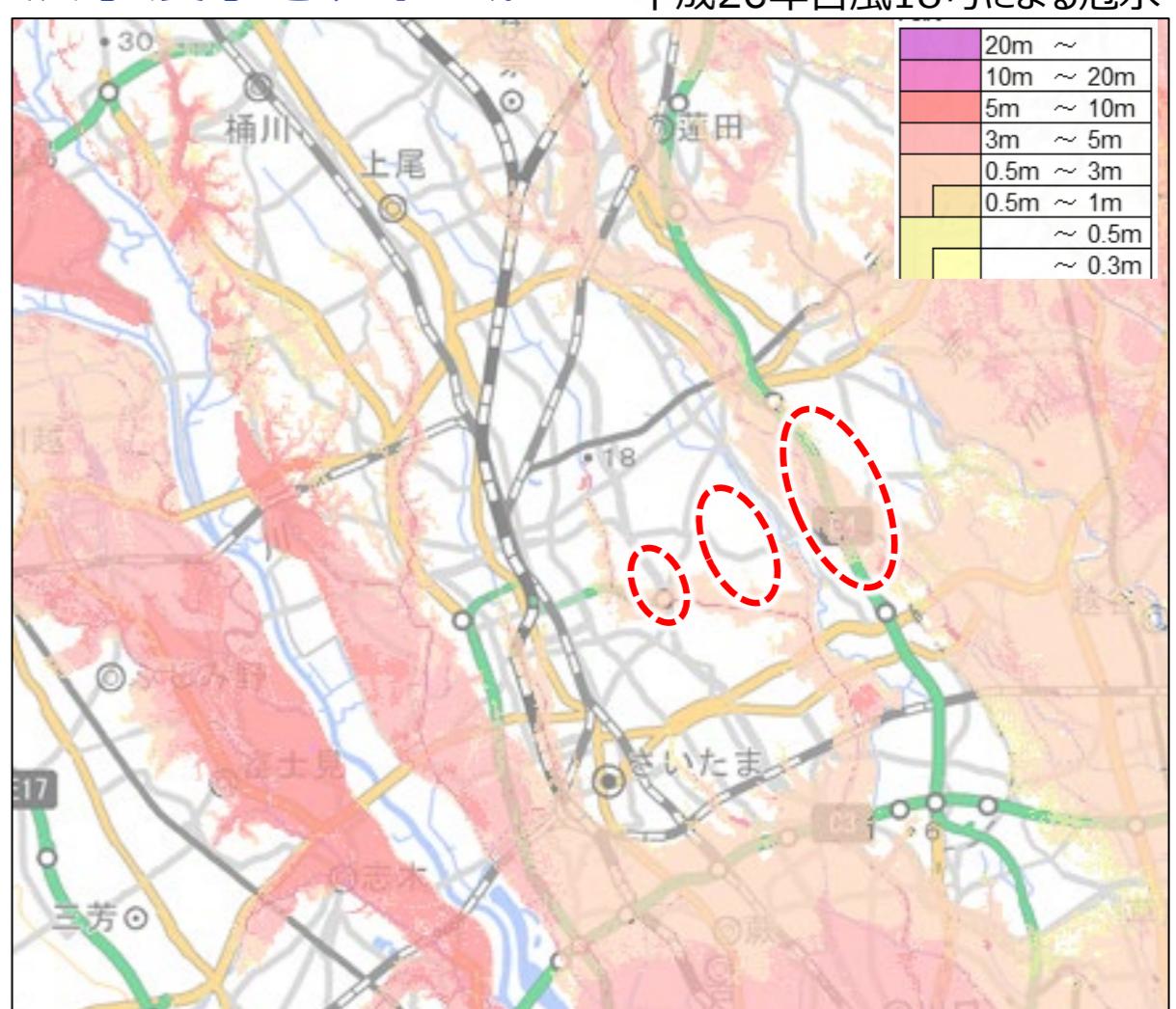


● 平成29年台風21号

- 平成28年台風9号
- 平成27年関東・東北豪雨
- 平成26年台風18号



洪水浸水想定区域



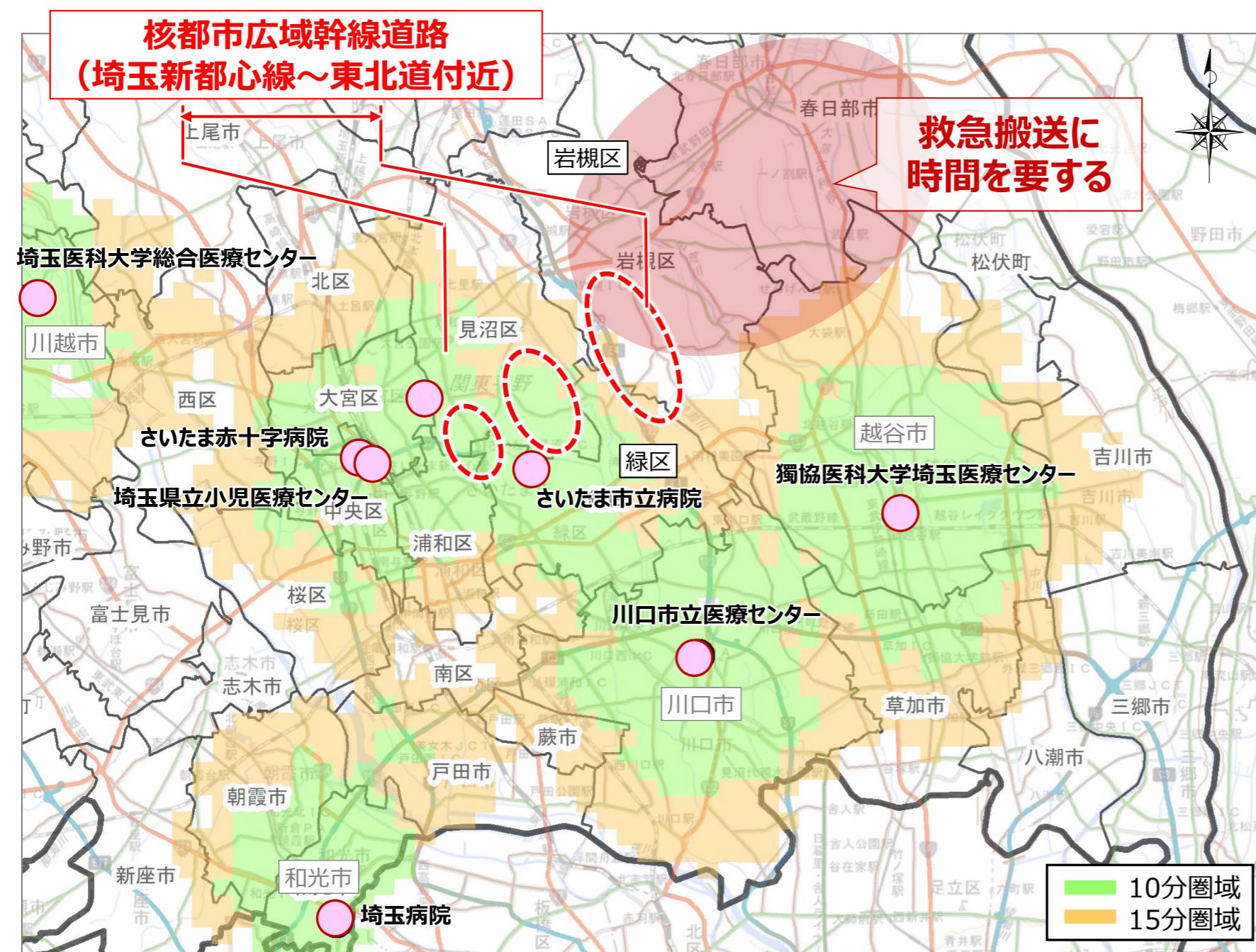
課題・目的

政策目標

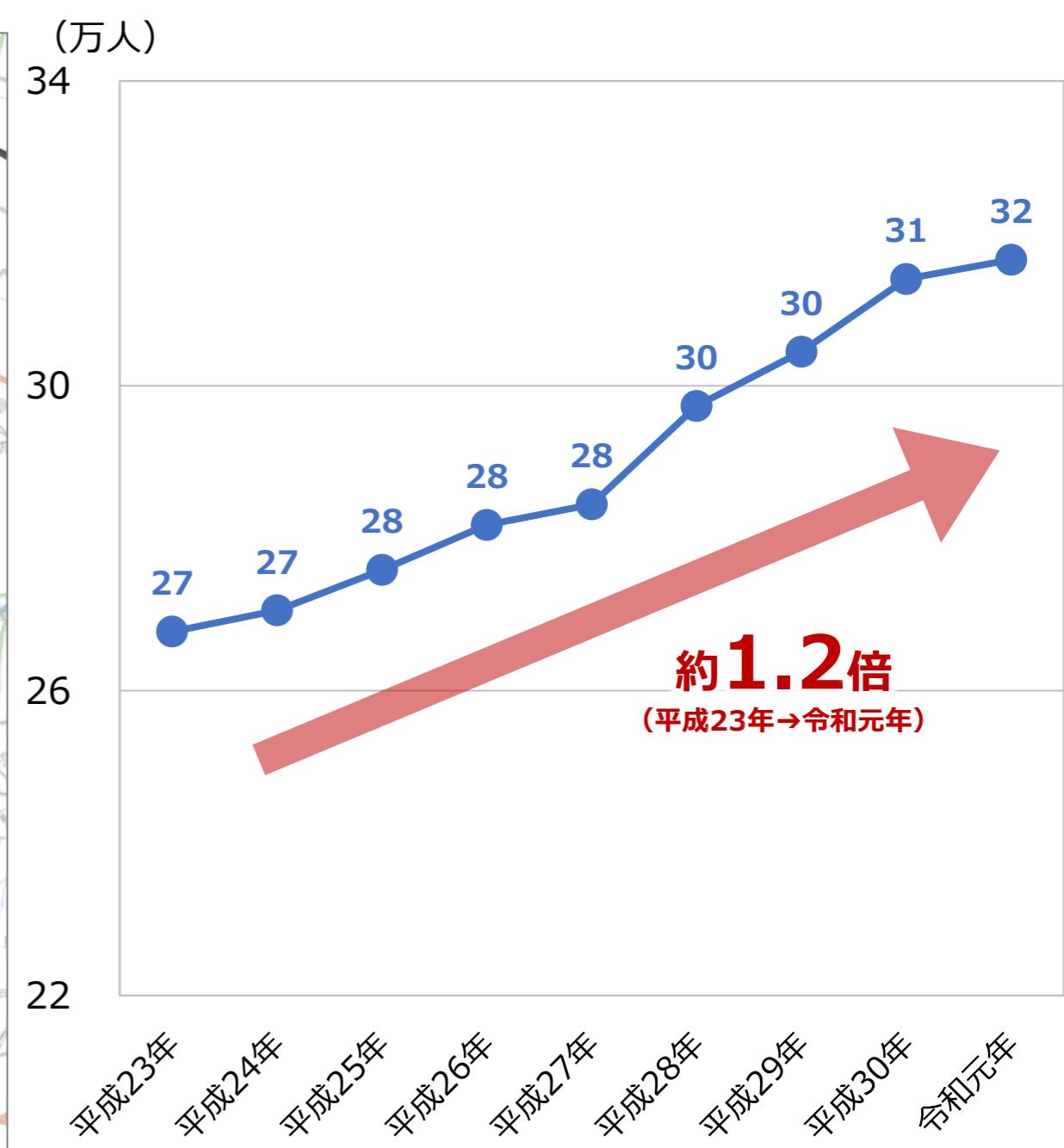
6 医療連携

- 埼玉県の救急搬送人員は、平成23年から令和元年にかけて約1.2倍に増加している。
- さいたま市岩槻区や緑区の一部等では、第三次救急医療施設への救急搬送に時間要する。

第三次救急医療施設と到達圏域



出典：ETC2.0プローブデータ(令和3年4月-令和4年3月 平日)

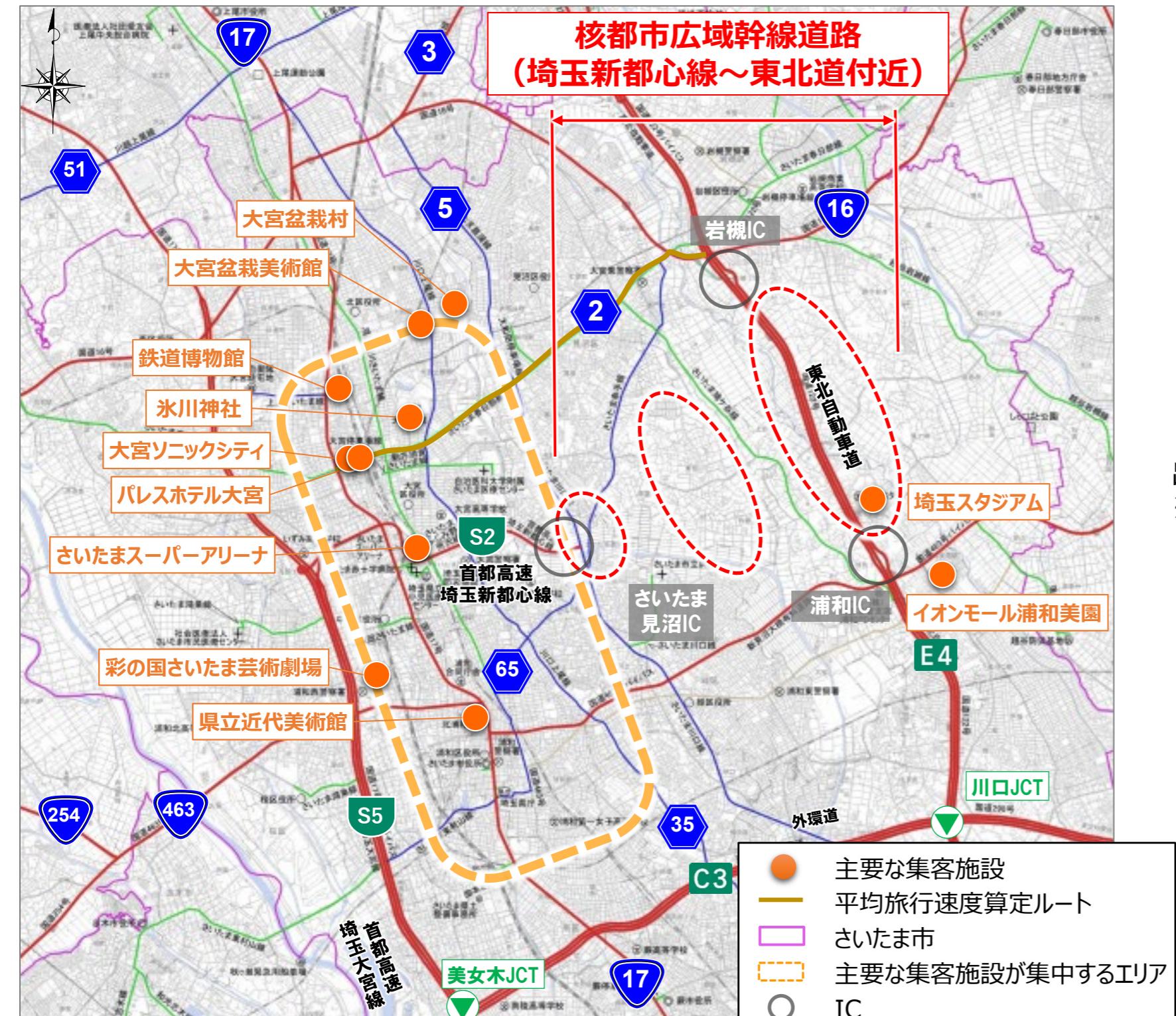


出典：埼玉県消防年報

7 観光

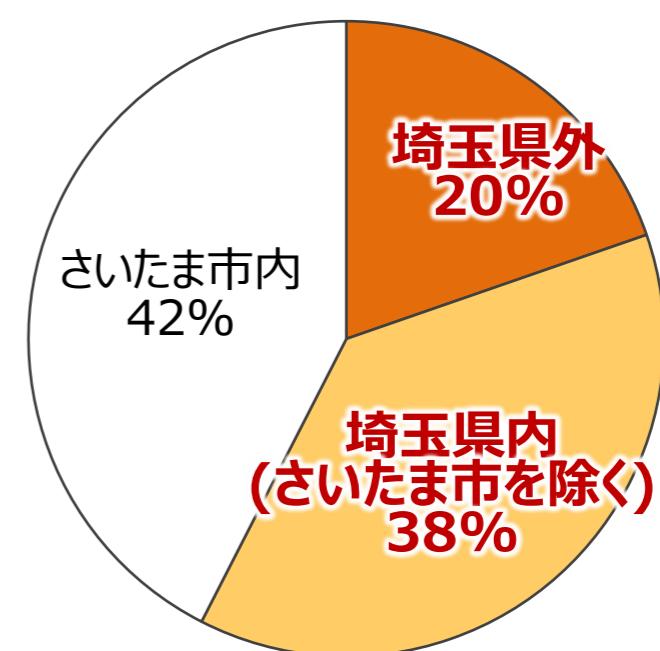
- さいたま市内の国道17号沿線付近には国際会議場や寺社・仏閣、博物館等の主要な集客施設が集中しており、埼玉県外やさいたま市外からの来訪者が多い状況である。
- しかし、このような来訪者の利用が想定されるルート（県道2号等）の旅行速度は休日で22.3km/h、イベント日で17.7km/hまで低下しており、円滑な移動が困難な状況にある。

主要な集客施設



出典：さいたま国際観光協会HPより抽出 注. R7.11追記

主要な集客施設が集中するエリアへの来訪元



出典：ETC2.0プローブ (令和3年4月～令和4年3月)
※主要な集客施設が集中するエリア：さいたま市大宮区、中央区、浦和区

岩槻IC～主要な集客施設が集中するエリアの平均旅行速度



注. イベント日：さいたまスーパーアリーナでのイベント開催日

課題・目的

配慮すべき事項

8 営農・自然環境・景観

- 埼玉県では、見沼田んぼを首都近郊に残された数少ない大規模な緑地空間として、平成7年に「見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針」を策定し、土地利用の基準と手続きを定めている。
- 道路整備計画を検討する際は、これらの自然環境の保全・創造に配慮する必要がある。

- 現在、市民団体等が運営主体となり、誰もがいつでも立ち寄れる見沼田んぼとするため、様々なプログラムを定期的に開催している。



斜面林の保全活動

- 平成2年から埼玉県が緑のトラスト保全第1号地として「見沼田圃周辺斜面林」の土地を取得し、市民が斜面林の保全活動を開始。



見沼・さぎ山交流ひろば

- 平成28年6月より、さぎ山記念公園を拠点に、見沼田んぼの総合的な情報発信、学習、休憩等の機能を持つ「見沼・さぎ山交流ひろば」の運営を開始。



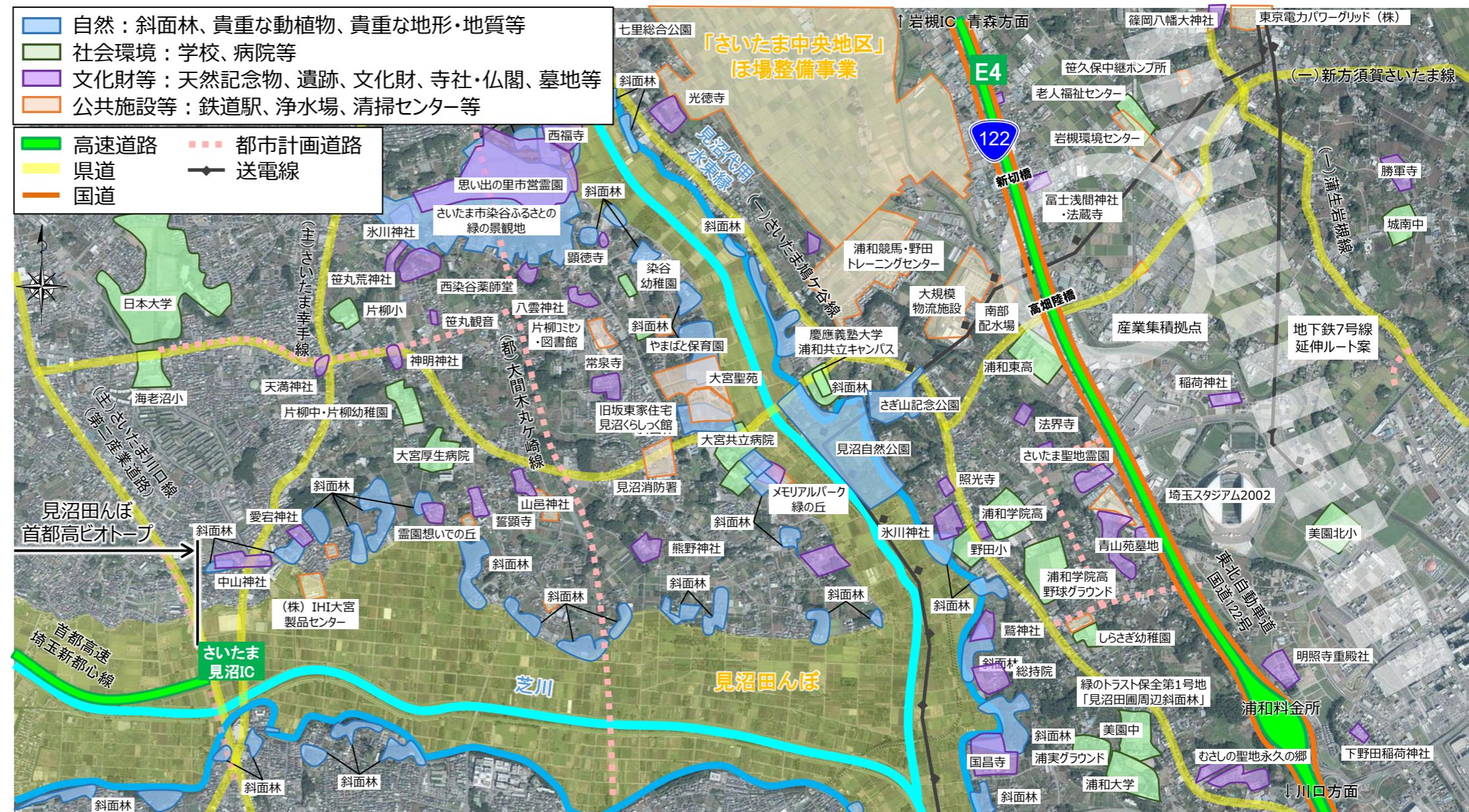
9 沿道家屋や周辺施設等への影響

- 見沼田んぼの文化資源だけでなく、教育施設や病院、寺社・仏閣なども各所に存在する。
- 道路整備計画を検討する際には、これらの施設への影響を十分に考慮することが求められる。

大宮共立病院



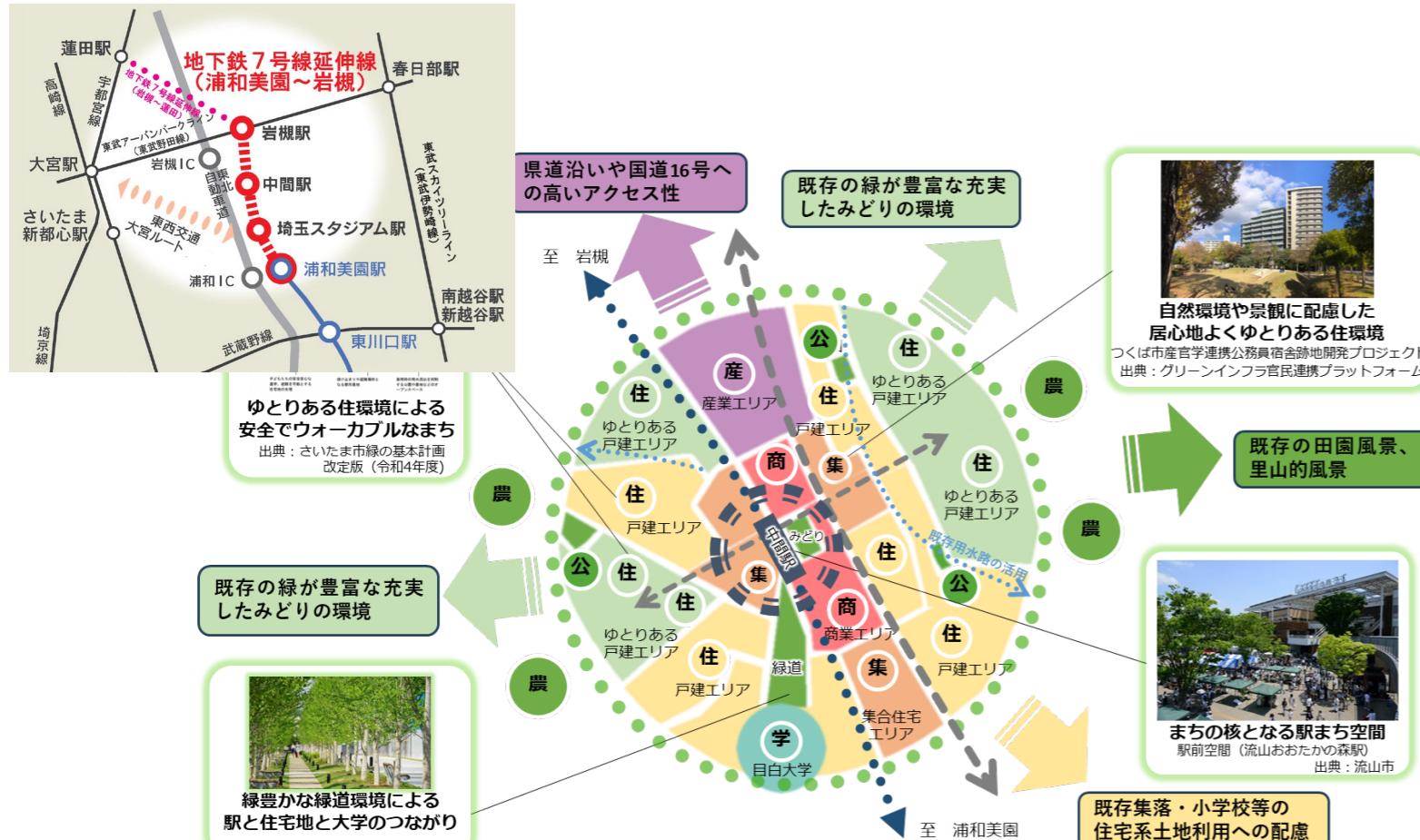
埼玉新都心線～東北道付近の土地利用状況



地下鉄7号線の延伸計画、中間駅周辺のまちづくり

- 地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の延伸は、平成28年4月の交通政策審議会答申第198号において、浦和美園から岩槻を経由して蓮田までの延伸が位置付けられており、先行整備区間として浦和美園から岩槻までの延伸について取組みを進めている。

地下鉄7号線延伸事業の概要



出典：令和7年度 中間駅まちづくり方針改定素案に係るオープンハウス資料

大宮駅西口交通結節点事業

- 大宮駅周辺地域は幹線道路や高規格道路へのアクセスが容易で「道路交通の要衝」となっており、首都圏広域地方計画（平成28年3月）では、「大宮」は「東日本の玄関口」として位置づけられている。

道路ネットワークから見る「大宮」



▲高速バス降車後、200~400m歩く必要がある

周辺環境と一体になった整備の検討

関連する課題・目的

8. 営農・自然環境・景観

…見沼田圃をはじめとした沿線地域の農業の営みを育むとともに、歴史的な遺産や自然環境、風致的に維持すべき景観に配慮する。

第3回地元検討会でのご指摘

○見沼田んぼの基本方針にあるような自然とのふれあいの場（ビオトープ等）を一体的に整備するなど、道路におけるグリーンインフラ整備という地域にとって新たな価値を生み出す今後の検討の方向性を情報提供していくとよい。



他事例を参考に快適な道路空間の形成も考慮して、検討を進めます

● 見沼田んぼ

- ・見沼田んぼは、さいたま市、川口市の2市にまたがる、面積約1,260haの大規模な緑地空間です。
- ・埼玉県では、首都近郊に残された数少ない大規模な緑地空間として、平成7年に「見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針」を策定し、土地利用の基準と手続きを定めています。
- ・道路整備計画を検討する際は、これらの自然環境の保全・創造に配慮する必要があります。



自然のふれあい施設として環境教育活動を行った事例

● 事例の紹介

環境施設帯を緑地帯として整備している事例

見沼たんぼ首都高ビオトープ



橋梁の色を周辺環境と調和した配色にしている事例

首都高速1号羽田線



出典：首都高速（株）「効果橋の景観改善」

見沼たんぼ首都高ビオトープ



景観や周辺環境に配慮されて並木を植樹した事例

さいたま市道717号線（メタセコイア並木）



出典：浮間わいわいねっと「メタセコイアの並木（さいたま市緑区）」

見沼田んぼを通過する箇所においては、他事例等を参考に検討を進めてまいります



幹線道路ネットワークの高度利用に向けた検討

関連する課題・目的

3. 企業進出・人口増加・拠点間連携

… 大宮地区・さいたま新都心地区と美園地区の連携強化や、東北道等から企業等が集積する地域へのアクセス性の向上により、企業活動を支援する。

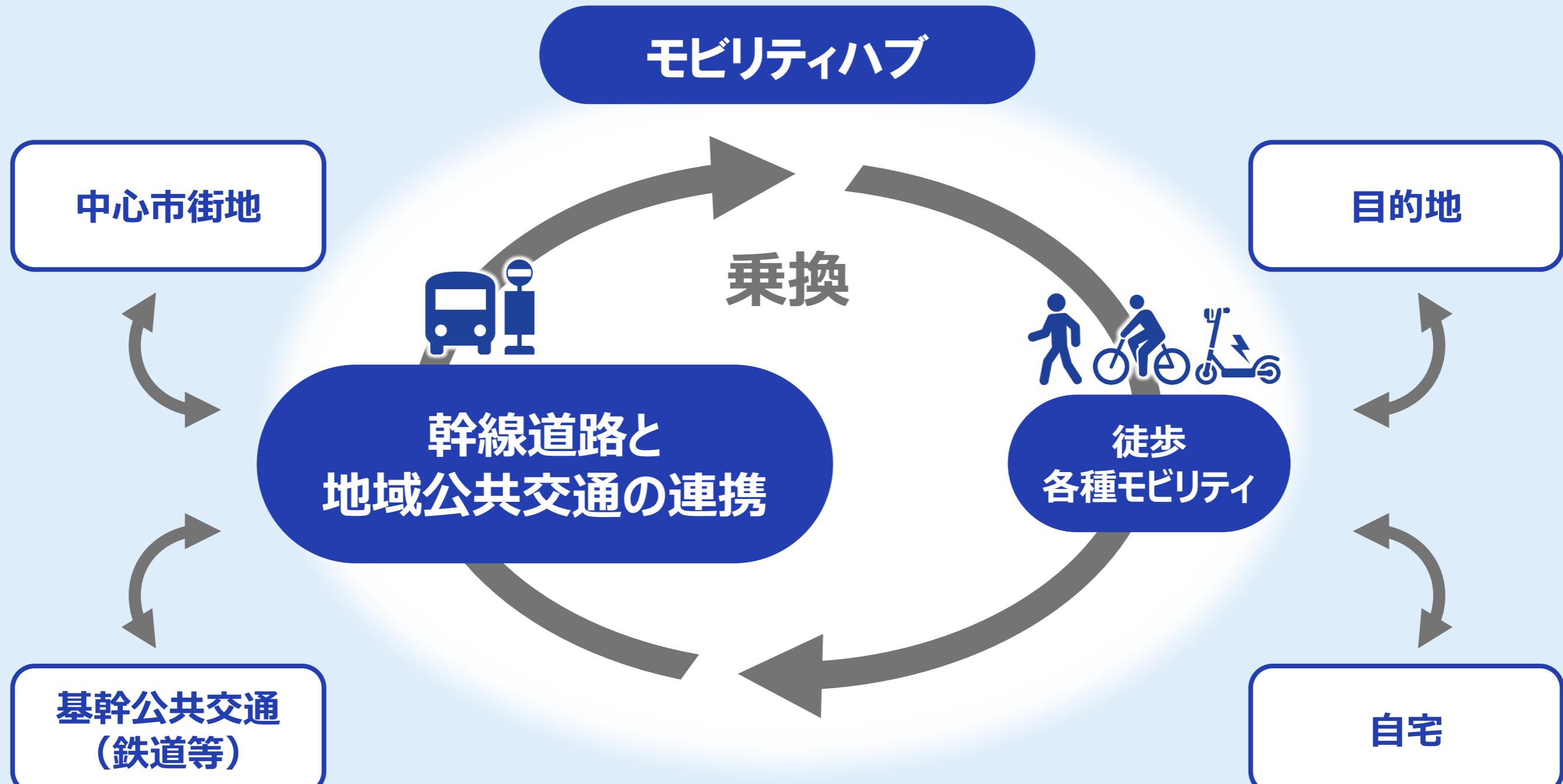
第3回地元検討会でのご指摘

○核都市広域幹線道路は首都圏郊外の主要都市を結ぶ構想であり、公共交通と連携することで、整備効果がより発揮されることが期待される。公共交通との連携についても情報提供していくべきではないか。

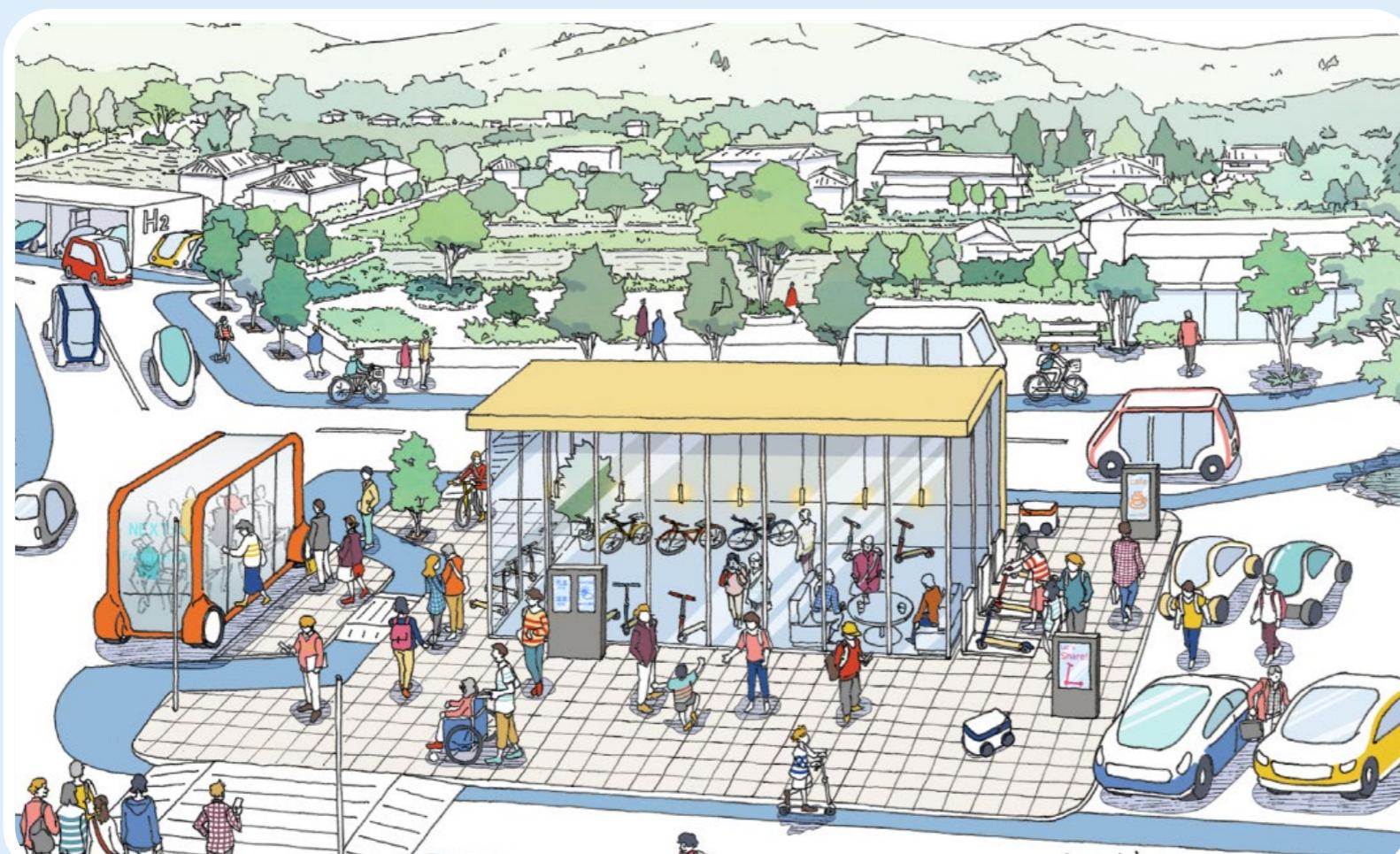


公共交通と核都市広域幹線道路との連携可能性について、国・県・市で検討を進めます

● 地域公共交通と連携



● モビリティハブ（イメージ）



モビリティハブとは、複数の交通手段を効率的に乗り継げるよう集約した拠点のことだよ！



さいたま市PRキャラクター つなが竜ヌウ

出典：国土交通省「2040年、道路の景色が変わる」